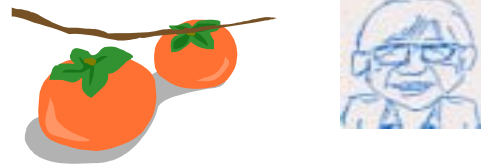


# かきのきだいら



VOLUME 2007, NUMBER 3 <http://kiyokawa.katsura.dk> E-MAIL: [kiyokawa@katsura.dk](mailto:kiyokawa@katsura.dk)

発行責任者「桂秀光の会」代表 藤川欽一郎 〒243-0112 清川村煤ヶ谷 860-1 電話 046-205-0456 または 0120-981-099



か っ っ り ひ で み つ  
**桂秀光**のひとりごと

## 行政改革とは？

ここ10年位の間に日本の社会は第2次世界大戦終了後、最大の変化の時を迎えています。「私は行政改革をします。」と叫んでいる政治家の方々もたくさんいます。その手法は煎じ詰めれば、どなたも大体同じで、公務員の数を減らし、公務員の人件費を下げ、様々な民会委託を推進し、福祉サービスを低下させ、さらに公共事業を減らし、財政赤字を削減するという、「何でも削減行政」こそが、日本という国の正しい進むべき道であるという国民的コンセンサスができあがっているようです。私自身も本当に無駄なことは止めるべきであると思いますが、何が本当の無駄であるのかを判断することは、そう簡単なことではないはずです。忘れてはならないことは、「何でも削減行政」が果たして一般庶民を豊かにしているのかという素朴な疑問です。「何でも削減行政」で一般庶民のあなたの収入や財産が増え、納税額は減少し、経済的にも精神的にも豊かになったのかどうかは甚だ疑問ではないかと思っています。財政赤字も見方を変えれば、税金を庶民からあまり巻き上げないで、庶民が高利貸しから借金をして生活せざるを得ない状況にならないようにするため、公的看板を使って国や地方公共団体が低利で借金をし、一般庶民のために使っていると言えなくもありません。もちろん、だから国や地方公共団体がどんどん借金をすべきなど言うつもりはありませんが、騙すのが上手な政治家やマスコミ、御用学者や御用評論家に本誌読者が騙されないように別の視点を提供しているわけです。

## 政治家の仕事とは？

「何でも削減行政」が政治家の仕事でないとするれば、政治

家の仕事は一体なんですか？ 10年先、100年先を見据えた確固たるビジョン、目標を持ち、多くの有権者の現状や意見をも踏まえて、全ての方々がより幸せに暮らせるよう引っ張ってゆくことではないでしょうか？ そのための資質としては、様々な経験や知識を持ち、健康で、どこへでも気軽に出かけて行って、偏見を持たないで現状を客観的に把握し、大多数がより幸せになれる方向性を勇氣を持って公正に決断できる能力を持っていることだと思います。税金をこのようにしたら将来はこういうふうになるなどと説明する政治家がよくいますが、それは今、予測されている数値や条件が変わらなければという大前提があつてのことで、それが実現されたときの予想できない様々な影響など全てを事前に計算することなど不可能です。

## 愛国心とは？

最近、愛国心が話題になっていますが、本来、愛国心とは、国民を愛し、国民を大切にすることであり、国旗や時の権力者を必要以上に崇め奉ることではないはずです。優秀な国民がいなければ、国旗や領土、権力者があつても国家は存在し得ないことは自明の理です。しかしながら、愛国者を自称する多くの政治家は、国民を愛し、大切にすることを忘れていた現状があります。日本は先進国といわれる国の中で、最も自殺する方の割合が高い国です。公的な統計によると、30代から50代までの男性の死亡原因第1位は自殺です。また、年間の自殺者数は3万人を越え、毎日約100人弱の方々が自殺で亡くなっています。この値は、米国＝アメリカ合衆国の倍以上、メキシコの約10倍の高率です。その原因について様々な分析がなされていますが、その一つに日本の伝統的な融通の利かない官僚主義的な行政の対応があると私は睨んでいます。私がいつも政策として掲げている、「保険料を支払えない方から国民健康保険証を取り上げるようなことをすべきではありません。」は、以上のような私の愛国心から出ているものです。金銭的な問題より、ともかく健康を回復してもらい、やる気を持って得意分野で活躍できるようになって頂き、日々生き甲斐を持って暮らしていける世の中にするのが政治家の愛国心だ

と私は思います。

## お役所仕事の根拠は？

何か困ったことがあつて行政機関を訪ねても、窓口をたらい回しにされた挙げ句果てに、問題が解決されるどころか、絶望的な気持ちを増幅させられることは、日本の行政機関ではよくある現状です。そういう場合、どうして、そういうことになるかの根拠となる法律や条例の根拠を尋ねると、多くの場合、正確に回答できなかつたり、判断の根拠が客観的に示されなかつたりするものです。役人は法律や条令に基づいて仕事をするはずですが、現状は慣習的にやっているのか、その一番肝心な部分がおろそかにされています。行政改革だと言って、役人の数や処遇が問題視されますが、役人が法律や条令制定の趣旨を十分理解した上で、庶民の幸せのために法律や条令を適応し、運用するようにしていくことも重要な課題です。また、本来対応すべき仕事なのに、ことなかれ主義的な発想からなかなか対応してもらえなかつたり、取り合つてさえもらえなかつたりする現状があります。こういう状況を改善させていくことも地方自治体の首長の政治家としての重要な仕事ですが、昨日まで、その地方自治体の役人幹部として働いていたような人間が、その自治体の長に就いていたのでは、改善は望み薄だとは思いませんか？

## 桂秀光 紹介

昭和31年(1956年)7月東京都世田谷区出身。小中高時代、川釣り好きの父の影響で家族と共に休みになると清川村を訪れ、煤ヶ谷から大山への登山を毎年数回行うという少年時代を過ごす。既婚。現在、妻は横浜市神奈川区にある桂太郎元首相が創設した社会福祉法人の病院に勤務。両親と妻の4人暮らし。桜美林中・高、東海大理学部化学科卒。東京理科大学専攻科化学専攻、東京水産大(現在の東京海洋大)大学院水産学研究科修了。東京湾の環境問題を研究し学位取得。米政府招聘によりサウスダコタ州立大学で地球環境問題を研究。自ら飛行機を操縦し地球環境の研究に取り組む。米化学会会員。小田原少年院法務教官、育英高専(現在のサレジオ高専)講師、武相高講師、品川区立荏原第四中、品川区立伊藤中、千代田区立麹町中、都立大森高定時制、都立大森東高全日制で理科・化学担当教諭を歴任。2001年、対教師校内暴力事件の被害者となったことをきっかけに20年以上続けてきた教員生活を辞め、フランス系英国人が経営し米国カリフォルニア州に本社がある航空企業 PROTEUS AIR SERVICES INC.の役員に就任し、現在に至る。桂太郎元

首相と桂誉子茅ヶ崎市ボランティア連絡会初代会長の人類愛の思想を受け継ぎ、金勘定ばかりが優先する現在の行政のあり方を憂い、2003年に行われた茅ヶ崎市長選挙、衆議院議員選挙に出馬し惜しくも落選。趣味のアマチュア無線活動(コールサイン JR1UTS)を通じブルネイ王家と交友を深める。社団法人日本アマチュア無線連盟会員、同連盟監査指導委員を歴任し、1989年、同連盟会長から表彰を受ける。

## アンケートの結果

「桂秀光の会」が昨年後半から今年初めにかけて清川村村民の皆様を対象に行ったアンケートですが、10%弱という予想以上の高い回収率でした。配布したアンケート用紙総数842枚に対して、寄せられた回答数は今日現在、82通です。過去、湘南地区で「桂秀光の会」が行ったアンケート調査で、回収率が5%を超えることは一度もありませんでしたから清川村村民の皆様への関心の高さがうかがえます。尚、今回行ったアンケートは、一つの質問に対して、複数の回答を選択することができることから、回収総数と個々の選択された回答数が同数とはなりませんことを予め御了承ください。(詳細は裏面へ)

## 「桂秀光の会」紹介

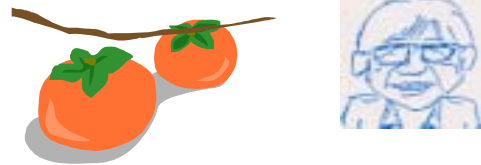


ふじかわきんいちろう  
**「桂秀光の会」代表 藤川欽一郎**

本誌名「かきのきだいら」は、桂秀光が小学校時代、本厚木から宮ヶ瀬に向かうバスで乗り物酔いになり、生まれて初めて清川村に降り立ったのが、柿ノ木平バス停であったことにちなみ命名されました。本誌への御投稿、桂秀光の政策について御質問、御意見、御提言を歓迎致します。「桂秀光の会」および「かきのきだいら」は私の恩師、桂秀光を後援するため設立した政治団体です。御入会は下記の申込書を御送付ください。

「桂秀光の会」入会申込書	
ふりがな	
御名前	
郵便番号	
御住所	
電話・FAX	
e-mail	

# かきのきだいら



VOLUME 2007, NUMBER 3 <http://kiyokawa.katsura.dk> E-MAIL: [kiyokawa@katsura.dk](mailto:kiyokawa@katsura.dk)

発行責任者「桂秀光の会」代表 藤川欽一郎 〒243-0112 清川村煤ヶ谷 860-1 電話 046-205-0456 または 0120-981-099

2006年12月16日より有効

本厚木駅行き バス時刻表		
	宮ヶ瀬発	上煤ヶ谷発
6	32, 45	05, 20, 30, 42, 55
7	05, 20, 50	15, 30, 40
8	05, 50	00, 15, 30
9	00, 50	00, 10
10	50	00
11	50	00
12	50	00
13	50	00
14	50	00
15	50	00
16	50	00
17	50	00
18	50	00, 25
19	50	00, 10
20		00

「桂秀光の会」が上記時刻表の正確性を保証するものではありません。  
 黒字：毎日運行  
 赤字：土曜、休日のみ運行  
 青字：平日のみ運行  
 問い合わせ先：神奈川中央交通 厚木営業所  
 電話 046-241-2626

2006年12月16日より有効

本厚木駅発 5番のりば バス時刻表		
	宮ヶ瀬行き	上煤ヶ谷行き
6	55	00, 50
7	40, 50	
8	40	
9	40	
10	40	
11	40	
12	40	
13	40	
14	40	
15	40	
16	40	
17	40	20
18	40	20
19	40	10
20	30, 40	10
21		10, 40

「桂秀光の会」が上記時刻表の正確性を保証するものではありません。  
 黒字：毎日運行  
 赤字：土曜、休日のみ運行  
 青字：平日のみ運行

## アンケートの各選択肢回答数

- 【3】20年ぶりの村長選挙を歓迎しますか？  
 (A) 歓迎する。:79、(B) 歓迎しない。:2、  
 (C) わからない。:1
- 【4】【3】で「(A)歓迎する。」と回答された方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 有権者の選択肢が広がる。:48  
 (B) 村政に適度な緊張感が生まれる。:43  
 (C) 村の名前がマスコミで取り上げられる。:2  
 (D) その他。:3
- 【5】【3】で「(B)歓迎しない。」と回答された方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 選挙により村内に対立が生じるのは困る。:0  
 (B) 選挙を実施しても結果はわかっているから。:2  
 (C) 現在の村政が継続されないと困るから。:0  
 (D) 欧米型の民主主義は清川村には向かないから。:0  
 (E) その他。:2
- 【6】20年ぶりの村長選挙の投票に行かれる予定ですか？  
 (A) 行く。:76、(B)行かない。:2、(C)わからない。:4
- 【7】【6】で「(B)行かない。」と回答された方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 関心がない。:0、(B) 誰がなっても同じ。:2、  
 (C) 時間がない。:1、(D) その他。:0
- 【8】【6】で「(A)行く。」と回答された方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 投票にはいつも必ず行くので。:53  
 (B) 支持している候補者がいるので。:7  
 (C) 親類や友人、知人が応援している候補者がいる。:2  
 (D) 地元出身の候補者を当選させるため。:0  
 (E) 村政の変革を望んでいるので。:44  
 (F) 20年ぶりの選挙なので。:5  
 (G) その他。:3
- 【9】投票する候補者を決めるにあたり重視することは何ですか？  
 (A)地元出身者であること。:1、(B)村の行政を熟知していること。:2、(C)人柄。:5、(D)政策。:27、(E)経歴や学歴。:7、(F)親類、知人、友人であること。:3、(G)村の発展を託せることのできる。:58、(H)合併に反対であること。:68、(I)合併に賛成であること。:19、(J) その他。:3

- 【10】清川村が他の市町村と合併することに賛成ですか？  
 (A) 賛成。:22、反対。:60
- 【11】【10】で、「(A)賛成。」と答えた方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 小さな地方自治体では効率が悪いので。:18  
 (B) 村より市の方が行政サービスが優れているので。:17  
 (C) その他。:2
- 【12】【10】で、「(B)反対。」と答えた方に伺います。その理由は何ですか？  
 (A) 小さな地方自治体の方が民意が反映しやすいので。:54  
 (B) 清川村住民であることに誇りを持っているので。:3  
 (C) 清川村が存続した方が個人的に有利なので。:3  
 (D) その他。:4
- 【13】清川村に住んでいて不満を感じることは何ですか？(紙面の関係で10人以上が選択された項目のみ記載)  
 路線バスに関する。:25、買い物に関する。:34、医療に関する。:28、高校や大学がないこと。:13、小学校や中学校に関する。:11、介護や福祉サービスに関する。:20、救急医療に関する。:15、村道に関する。:11、村役場職員の対応に関する。:23、村長の対応に関する。:14、村議会議員に関する。:18、村役場の執務日や執務時間に関する。:15、ゴミの収集に関する。:22、村役場の公務員採用に関する。:20、電気通信に関する。:25、携帯電話やPHSのサービスエリアに関する。:25、観光業に関する。:16、通勤に関する。:17、保健衛生に関する。:19、野生動物からの被害に関する。:13、村内行事の際の交通渋滞に関する。:27、村営バスに関する。:16、所得や収入が減少傾向にあること。:23、村内に適切な仕事がないこと。:21、県道に関する。:15、村に地元ケーブルテレビ局がないこと。:20
- 【お詫び】紙面の関係で今回、全てのアンケート結果を掲載できなかったことをお詫びします。